

**Panasonic**

# コンビネーションカメラ

**取扱説明書** 工事説明付き

品番 WV-CS650

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



上手に使って上手に節電

このたびは、コンビネーションカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

## 商品概要

本機は1/3インチCCDカラーテレビカメラと10倍ズームレンズ・レシーバ機能およびプリセット水平垂直回転台を一体化した屋内専用の複合型監視カメラです。主な特徴は次のとおりです。

- CCD部および信号処理回路にスーパーダイナミック方式（SUPER-D）を採用することによって、照度差の大きな被写体も鮮明に撮影できます。
- プリセットポジションやカメラID, SUPER-D, モーションディテクター, スワローターン（SWALLOW TURN）など多数のカメラ機能を搭載しています。カメラ機能は、メニュー画面上のセットアップメニューで設定できます（機能を設定するには別途コントローラーまたはパソコンが必要となります）。
- プリセットポジションを設定しておくことによって、コントローラーから番号を入力するだけで高速にカメラを移動できます。また、オートモードと組み合わせて使用すれば、プリセットポジションの番号順、またはカメラの原点位置から左回りに撮影場所を自動的に移動しながら監視できます。
- あらかじめ監視する場所の撮影条件（シャッタースピード、ゲイン、電子感度アップ、ホワイトバランス）をシーンファイルとして登録できます。プリセットポジションとシーンファイルを組み合わせて使用することによって、各ポジションごとに最適な設定が可能となり、被写体を鮮明に撮影できます。シーンファイルは10種類まで登録できます。
- スワローターンをONにすると、垂直方向0°～180°まで容易にカメラを旋回できます。
- マトリクススイッチャーなどと組み合わせて使用すれば、大規模な監視システムを構築できます。

## 付属品をご確認ください

カメラ本体着脱金具……………	1	取扱説明書（本書）……………	1
取付固定ねじ		保証書……………	1
（出荷時はカメラ本体着脱金具に組込み）……	1		
飾りカバー……………	1		

# もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	4
使用上のお願い	6
各部の名前と働き	7
<hr/>	
設定メニューと基本操作	8
はじめに	8
セットアップメニューの基本操作	8
WV-CU550Aを使用する場合	8
WV-RM70を使用する場合	8
セットアップメニューの表示のしかた	9
セットアップメニューの表示	9
サブメニューの表示	9
セットアップメニューについて	10
プリセットの設定のしかた	12
プリセットの設定	12
プリセット設定メニューを表示する	12
プリセットを設定する	13
プリセットポジションを設定する	14
プリセットIDを登録する	15
SUPER-Dを設定する	16
光量をマニュアル設定する	18
停止時間を設定する	18
シーンファイルの詳細を設定する	19
オートモードの設定	22
ホワイトバランスの微調整	24
モーションディテクターの詳細を設定する	25
オートフォーカスの動作を設定する	27
カメラの設定	28
カメラ設定メニューを表示する	28
カメラ設定メニューについて	28
同期方法の設定	29
カメラ映像信号の微調整	30
<hr/>	
取り付けかた	32
設置場所について	32
強度のある天井に取り付ける場合(コンクリート天井など)	32
二重天井に取り付ける場合	34
天井から吊り下げる場合	34
壁に取り付ける場合	34
接続のしかた	35
画面の遷移	37
<hr/>	
仕様	38
保証とアフターサービス	39

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



## 警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。



## 警告

### 工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

### 分解しない、改造しない



火災の原因となります。

#### 分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡ください。



水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

#### 禁止

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。

### 回転動作中は、本体部に手を触れない



#### 指に注意

回転部に指をはさみ、けがの原因となります。

### 異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがする、落として破損したなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源を切り、販売店にご連絡ください。



#### 禁止

雨などがかかると、取付部劣化による機器の落下や、感電など事故の原因となります。

- 本機は屋内専用です。必ず屋内に設置してください。

- ドームカバーは付けた状態で使用してください。

# 安全上のご注意

必ずお守りください



## 警告

### 重量に耐える場所に 取り付ける



取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

### 専用の取付金具を 使用する



落下によるけがの原因となります。

- 設置の際は、必ず付属の取付金具を使用してください。

### 電源プラグは根元まで 確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

### 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

### 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

### コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや交流100V以外での使用はしない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



## 注意

### お手入れのときはカメラ 本体の電源を切る



指をはさみ、けがの原因となります。

指に注意

### 定期的に点検する



取付部が劣化すると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

### ぬれた手で、電源プラグ の抜き差しはしない



感電の原因となります。

# 使用上のお願い

## 使用温度範囲は

- 10°C以下の寒い所や  
+ 50°C以上の暑い所では、  
内部の部品に悪い影響を与  
えますので避けてください。



## 湿気、ほこりの少ない所で

湿気やほこりの多い所で  
使用すると内部の部品がい  
たみやすくなりますので避  
けてください。



ちゅう房など蒸気や油分の  
多いところでの使用は避けて  
ください。

アクリルドームカバーは直  
接手で触れないでください。  
カバーが汚れると画質劣  
化の原因となります。

取付ねじは別途ご用意く  
ださい。

本機を取り付けるねじは付属  
されていませんので別途ご  
用意ください。取付場所の  
材質構造と総質量を考慮し  
てお選びください。



本機は吊り下げ専用です。  
据え置きで使用しないで  
ください。故障の原因に  
なります。

カメラを太陽に向けないで  
ください。

カメラを使用しているいな  
いにかかわらず、レンズを  
太陽に向けないでください。



本機に電源スイッチはあり  
ません。

電源プラグをコンセント  
に差し込むと同時に電源  
が入ります。設置の際や  
お手入れの際は、必ず電  
源プラグをコンセントか  
ら抜いてください。

## 冷却ファンについて

カメラ内部には冷却用の  
ファンがついています。  
カメラ外装の冷却用穴をふ  
さぐと、カメラ内部が高温  
になり故障する原因となり  
ますので注意してください。  
冷却ファンは消耗品です。  
約30,000時間を目安に交  
換してください。

使用中、画面に「OVER  
HEAT」と表示されたときは

冷却ファン故障の原因な  
どにより、カメラ内部が  
異常に高温になっていま  
す。ただちに電源プラグ  
をコンセントから抜いて  
販売店へご連絡ください。

強い光にカメラを向けな  
いください。

画面の一部分にスポット光  
のような強い光があるとブ  
ルーミング、スミアを生じ  
ることがありますので避け  
てください。強い光が入  
った場合、画面に縦縞が現れ  
ますが故障ではありません。

取り扱いはいないに

落としたり強い衝撃や振  
動を与えないでください。  
故障の原因になります。

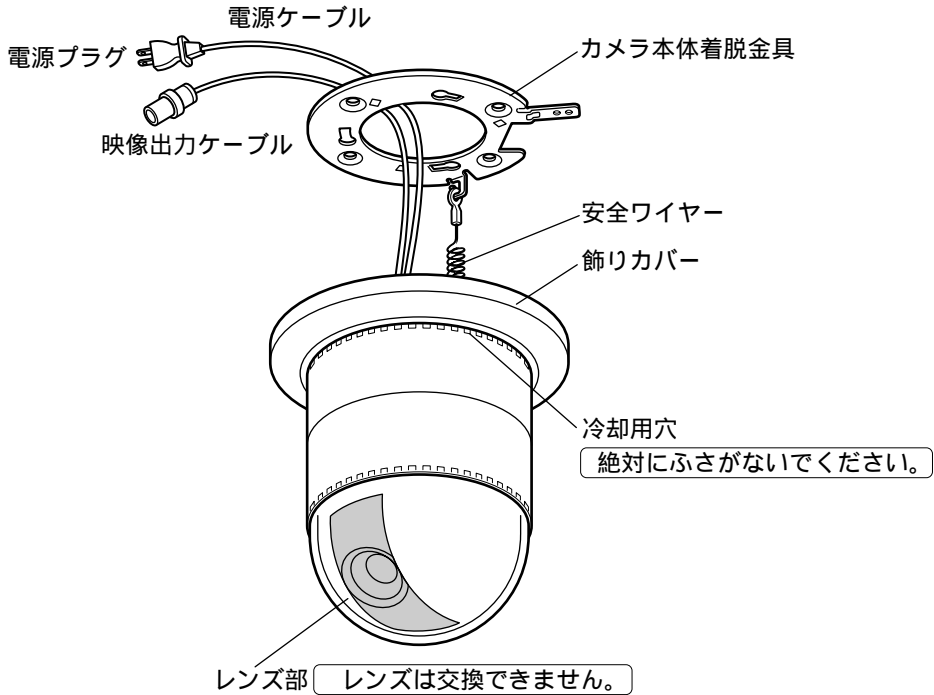


## お手入れは

電源を切って乾いた布で  
拭いてください。ほこりが  
取れにくいときは、台所  
用洗剤を布に浸み込ませ  
軽く拭いてください。  
レンズの清掃はレンズク  
リーニングペーパー(メガ  
ネやカメラの清掃に使う  
もの)で行ってください。  
ドームカバーは特に傷が付  
きやすいので、やわらかい  
布で軽く拭いてください。



# 各部の名前と働き



## 常に最良の状態でお使いいただくために

- このカメラはスリップリングと呼ばれる部品を使って電源や信号の伝達を行っています。スリップリングが汚れると、パン(水平回転)操作時に画質の劣化やノイズが発生することがあります。

常に最良の状態を保つために、最低1週間に1回はカメラの電源を入れ直してください。セルフクリーニング機能が働き、スリップリングの汚れを除去できます。パン操作を360°以上繰り返し行うことで、手動でスリップリングの汚れを除去することもできます。

カメラの電源を入れたときに、自動的にパン操作を360°以上行い、スリップリングの汚れを除去する機能です。カメラの電源を入/切できるように電源工事を行ってください。

- スリップリングのクリーニングを行っても画質の劣化やノイズを解消できないときは、スリップリングの寿命が考えられますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。なお、スリップリングは消耗品です。たばこの煙が多い場所など、使用環境によっては約20,000時間が交換の目安となります。交換が必要なときはお買い上げの販売店にご依頼ください。

# 設定メニューと基本操作

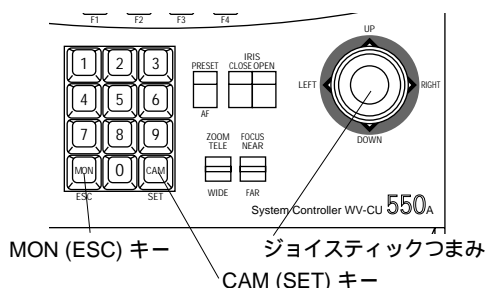
## はじめに

- 本機の各種機能は画面上に設定メニューを表示して設定します。  
最初に表示されるメニューをセットアップメニューと呼びます。
- 機能の設定は、本機に接続されたコントローラー(別売り品：WV-CU550A,WV-RM70)やパソコンで行います。本機のみで設定することはできません。

## セットアップメニューの基本操作

### WV-CU550Aを使用する場合

設定は、ジョイスティックつまみ、[CAM(SET)]キーを使用して行います。



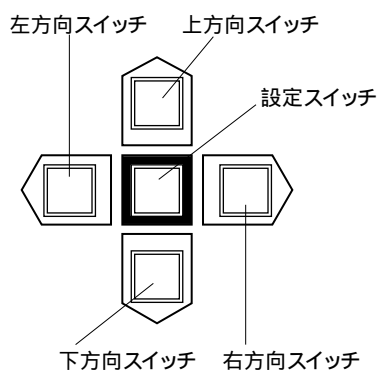
ジョイスティックつまみ：カーソルを上下左右に移動します。

また、設定内容の切り替えとレベルの調整ができます。

CAM(SET)キー：設定内容を確定します。またはサブメニューを表示します。

### WV-RM70を使用する場合

設定は、上下左右スイッチ、設定スイッチを押して行います。



左方向スイッチ：カーソルを左に移動します。また、設定内容の切り替えおよびレベルの調整ができます。

上方向スイッチ：カーソルを上を移動します。

設定スイッチ：設定内容を確定します。また、設定メニューを切り替えます。

右方向スイッチ：カーソルを右に移動します。また、設定内容の切り替えおよびレベルの調整ができます。

下方向スイッチ：カーソルを下に移動します。



## セットアップメニューの表示のしかた

ここでは、コントローラーWV-CU550Aによる操作のしかたを説明します。

操作の詳細や、他のコントローラーなどを用いて設定する場合は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

### セットアップメニューの表示

1 セットアップするカメラとセットアップメニューを表示するモニター番号を選択する

2 カーソルキーを使い、D4メニューを表示する

3 F1キーを押す

液晶ディスプレイの表示が変わり、モニターにセットアップメニューが表示されます。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↵
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN↵
SWALLOW TURN OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
CAMERA ↵
```

セットアップメニュー

4 セットアップメニューを消すときは

F4キーを押します。

### サブメニューの表示

設定項目右側の“↵”表示は、詳細項目を設定するためのサブメニューがあることを示しています。また、セットアップメニューの“PRESET 1\*”の“\*”表示は、ポジション設定済みの状態を表します。

1 “↵”表示のある項目にカーソルを移動し、CAM(SET)キーを押す

これでサブメニューが表示されます。

```
* PRESET NUMBER SET *
1* 2 3 4
5 6 7 8
9 10 11 12
13 14 15 16
17 18 19 20
21 22 23 24
25 26 27 28
29 30 31 32
ID:DOOR
33-64 RET
```

“MAP ↵”を選択しCAM(SET)を押した例

2 直前のメニューに戻るには“RET”にカーソルを移動しCAM(SET)キーを押す  
上記メニューの場合セットアップメニューに戻ります。

D4メニュー

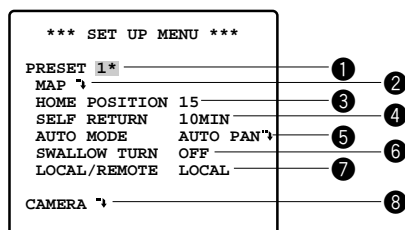
```
Camera Set up menu
On EXIT
F1 F2 F3 F4
```

```
Camera Set up menu
Res A.Res EXIT
F1 F2 F3 F4
```

# 設定メニューと基本操作

## セットアップメニューについて

撮影条件に合わせて本機の機能を設定します。設定作業を行うには、はじめにセットアップメニューを表示します。



### セットアップメニュー

- ① **PRESET** : プリセット設定メニューを表示し、監視位置を番号（プリセット番号）として登録します。登録時に回転台の水平・垂直位置や、レンズのズーム・フォーカス位置などを設定します。  
☞ 12ページ
- ② **MAP** : プリセット番号一覧（ポジション選択メニュー）を表示し、設定したいプリセット番号を選んでからプリセット設定メニューを表示できます。☞ 12ページ
- ③ **HOME POSITION** : 手動での操作を終了してから一定時間経過後、自動的に戻る位置（ホームポジション）を設定します。  
カーソルを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かす、設定したいポジション（1～64）を選択します。ホームポジション機能を使用しないとは“OFF”を選択してください。
- ④ **SELF RETURN** : ホームポジションに戻るまでの時間を設定します。  
カーソルを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かす、ホームポジションに戻るまでの時間を切り替えます。時間は次のように切り替わります。  

→ 1MIN → 2MIN → 3MIN → 5MIN → 10MIN	← 60MIN ← 30MIN ← 20MIN ←
-------------------------------------	---------------------------

（MINは分を表します）
- ⑤ **AUTO MODE** : カメラの動作モードを設定します。☞ 22ページ
- ⑥ **SWALLOW TURN** : スワローターンのON/OFFを設定します。カーソルを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かす、ON/OFFを切り替えます。
  - ON : スワローターン機能を使用します。  
垂直方向0°～180°まで容易にカメラを旋回できます。
  - OFF : スワローターン機能を使用しません。

- 
- ⑦ LOCAL / REMOTE : カメラとコントローラーの関係を設定します。カーソルを合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、“LOCAL/REMOTE”を切り替えます。
- LOCAL : コントローラーの電源を切っても“AUTO MODE”の設定内容に従い動作を続行します。
- REMOTE : コントローラーの電源を切ると、約1分後にオートモードでの動作を完了します。WV-RM70との組合せでは、“REMOTE”は使用できません。必ず“LOCAL”に設定してください。
- ⑧ CAMERA : カメラ設定メニューを表示し、カメラの設定を行います。  
☞ 28ページ

#### スワローターンについて

- スワローターンを“OFF”で使用している場合、カメラを垂直方向に180°動かすには①ジョイスティックつまみを下に動かしカメラを真下に向ける、②カメラを水平方向に180°旋回、③ジョイスティックつまみを上に動かす、の3ステップの操作が必要です。スワローターンを“ON”にすると、ジョイスティックつまみを真下に向け続けるだけで、上記①~③のステップを行うことができます。  
注：スワローターンはジョイスティックつまみを真下に向けたときに動作します。  
上、斜め上、斜め下方向のときは動作しません。
- スワローターン動作後、ジョイスティックつまみを一度中央に戻してから、ジョイスティックつまみを上に動かすとカメラは上に動きます（下に動かすとカメラは下に動きます）
- WV-RM70, WV-CU254, WV-CU354を使用する場合、スワローターンは使用できません。

# プリセットの設定のしかた

## プリセットの設定

### プリセット設定メニューを表示する

#### (1) プリセット設定メニューを直接表示する場合

- 1 カーソルを“1\*”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいポジション番号(1~64)に切り替える
- 2 CAM(SET)キーを押す  
プリセット設定メニューが表示されます。

#### (2) ポジション選択メニュー経由でプリセット設定メニューを表示する場合

- 1 カーソルを“MAP ↘”に合わせ、CAM(SET)キーを押す  
ポジション選択メニューが表示されます。
- 2 カーソルを設定したいポジション番号に合わせ、CAM(SET)キーを押す  
プリセット設定メニューが表示されます。  
ポジション番号33~64を表示するときは、メニュー左下の“33-64”にカーソルを合わせCAM(SET)キーを押してください。

#### メモ

- ポジション番号右側の“\*”印は、プリセットが設定されていることを示します。  
ホームポジションに設定されている場合、“\*”の横に“H”印が表示されます。
- ポジション選択メニューで、プリセットIDが登録されているポジション番号にカーソルを合わせると、“ID:”欄に、プリセットIDが表示されます。
- 作成したプリセットの内容を無効にするときは、プリセット設定メニューを表示し、画面下の“DEL”にカーソルを合わせてCAM(SET)キーを押します。“\*”が消え、カメラ操作時、プリセットIDが選択できなくなります(PAN, TILT位置など設定時に登録した内容はそのまま残ります)。

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↘
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN↘
SWALLOW TURN OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
CAMERA ↘
```

セットアップメニュー

```
*** SET UP MENU ***
PRESET 1*
MAP ↘
HOME POSITION 15
SELF RETURN 10MIN
AUTO MODE AUTO PAN↘
SWALLOW TURN OFF
LOCAL/REMOTE LOCAL
CAMERA ↘
```

セットアップメニュー

```
* PRESET NUMBER SET *
1* 2 3 4
5 6 7 8
9 10 11 12
13 14 15 16
17 18 19 20
21 22 23 24
25 26 27 28
29 30 31 32
ID:DOOR
33-64 RET
```

ポジション選択メニュー

```
PRESET NO. 1*
POSITION SET ↘
PRESET ID ON ↘
ALC/MANUAL ALC ↘
STOP TIME 10S
SCENE FILE 1 ↘
RET DEL
```

プリセット設定メニュー

## プリセットを設定する

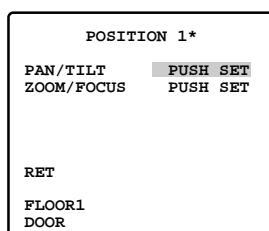
PRESET NO. 1*	
POSITION SET	↵
PRESET ID	ON ↵
ALC/MANUAL	ALC ↵
STOP TIME	10S
SCENE FILE	1 ↵
RET	DEL

プリセット設定メニュー

- カーソルを“ POSITION SET ↵ ”に合わせ、CAM(SET)キーを押す  
ポジション設定メニューが表示されます。回転台の水平・垂直位置やフォーカスなどを調整します。☞14ページ
- プリセットIDの登録と表示 / 非表示を切り替える
  - プリセットIDを登録する  
カーソルを“ PRESET ID ”の項目に合わせ、CAM(SET)キーを押し、プリセットID設定メニューを表示します。☞15ページ
  - カーソルを“ PRESET ID ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、“ ON/OFF ”を切り替える  
ON : プリセットIDを画面に表示します。  
OFF : 表示しません。
- カーソルを“ ALC/MANUAL ”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、光量制御方式 (“ ALC ” と “ MANUAL ”) を切り替える  
ALC : 被写体の明るさに応じて自動でレンズの絞りを調整します。  
SUPER-D機能を使うときはこの設定にします。☞16ページ  
MANUAL : レンズの絞りを被写体の明るさに関係なく設定値に固定します。  
☞18ページ
- プリセットシーケンス動作時の各ポジションでの停止時間を設定する  
カーソルを“ STOP TIME ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、停止時間を設定します。☞18ページ
- シーンファイルを設定する  
撮影場所 (シーン) に合わせたカメラ機能の設定を10種類まで記憶することができます。カーソルを“ SCENE FILE ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、シーンファイル番号 (1~10, OFF) を選択します。  
シーンファイルを使用しないときは“ OFF ”を選択してください。  
シーンファイルの詳細を設定するときはカーソルをシーンファイル番号に合わせ、CAM(SET)キーを押してください。☞19ページ
- 設定を終了する  
カーソルを“ RET ”に合わせ、CAM(SET)キーを押します。ポジション選択メニューに戻り、ポジション番号右側に “ \* ” 印が表示されます。

# プリセットの設定のしかた

プリセットポジションを設定する

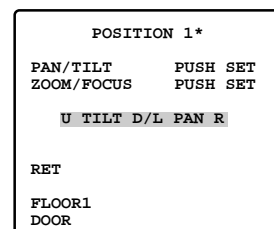


ポジション設定メニュー

## 1 回転台の水平・垂直位置を設定する

カーソルを“PAN/TILT”右側の“PUSH SET”に合わせ、CAM(SET)キーを押すと設定画面になります。

ジョイスティックつまみを上下左右に動かして回転台の水平・垂直位置を設定し、CAM(SET)キーを押します。位置が決定し、ポジション設定メニューに戻ります。

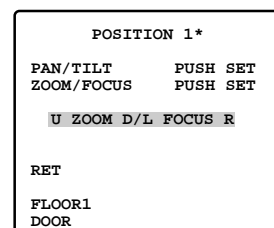


PAN/TILT設定画面

## 2 レンズのズーム・フォーカス位置を設定する

カーソルを“ZOOM/FOCUS”右側の“PUSH SET”に合わせ、CAM(SET)キーを押すと設定画面になります。

コントローラーのZOOMスイッチでズーム位置を、FOCUSスイッチでフォーカス位置を設定し、CAM(SET)キーを押します。位置が決定し、ポジション設定メニューに戻ります。

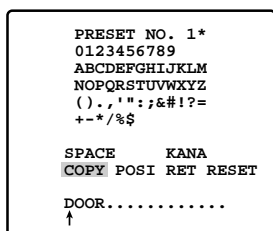


ZOOM/FOCUS設定画面

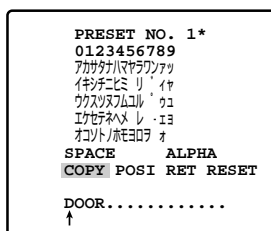
### メモ

- 水平に近い角度でご使用の場合、フォーカス調整があまくなることがありますのでご注意ください。
- ポジション設定メニュー上のポジション番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックつまみを左右に動かしてポジション番号を変え、CAM(SET)キーを押すことで、続けてポジションの設定ができます。

## プリセット IDを登録する



プリセットID設定メニュー  
(英数字入力画面)



プリセットID設定メニュー  
(カタカナ入力画面)



ポジション表示位置  
設定画面

### 1 画面に表示するプリセット IDを作成する

ジョイスティックつまみを使い、入力したい文字の上にカーソルを合わせ、CAM(SET)キーを押します。入力した文字(例.DOOR)が記号作成領域に表示されます。空白スペースを入力するときは“SPACE”を選びます。この操作を繰り返し、プリセット IDを作成します。

### 2 カタカナでプリセット IDを作成するときは

カーソルを“KANA”に合わせ、CAM(SET)キーを押すとカタカナの入力画面が表示されます。

### 3 他のポジションで設定したプリセット IDをコピーするときは

カーソルを“COPY”に合わせCAM(SET)キーを押すと、一つ前のポジションで設定したプリセット IDが表示されます。そのままCAM(SET)キーを押すと、さらに一つ前のポジションで設定したプリセット IDが表示されます。

### 4 作成したプリセット IDを修正するときは

ジョイスティックつまみを使いカーソルを記号表示領域に移動します。ジョイスティックつまみを左または右に動かし修正したい文字に“ ”を合わせ、文字の変更を行います。

### 5 作成したプリセット IDを消すときは

カーソルを“RESET”に合わせ、CAM(SET)キーを押します。

### 6 プリセット IDの表示位置を決める

カーソルを“POSI”に合わせ、CAM(SET)キーを押すとプリセット IDが点滅し、表示位置設定画面に変わります。ジョイスティックつまみを使い、画面上の任意の位置に移動し、MON(ESC)キーを押します。表示位置が決定し、プリセット IDの設定画面に戻ります。

#### メモ

プリセットID設定メニュー上のポジション番号にカーソルを合わせ、ジョイスティックつまみでポジション番号を変えることにより、続けてプリセットIDの設定ができます。

# プリセットの設定のしかた

## SUPER-Dを設定する

### (1) SUPER-D (スーパーダイナミック) 機能とは

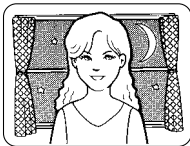
- この機能はプリセット設定メニューの“ALC/MANUAL”を“ALC”に設定したときにだけ使用できます。
- 画面中央に被写体を映している場合、背景にスポットライトのような明るい照明があると、カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定してしまうため、被写体が暗くなってしまう。

この現象を解消するために、本カメラではスーパーダイナミック (SUPER-D) 方式を採用しています。この方式は、従来のカメラの約32倍のダイナミックレンジを確保できるため、逆光に対して大変効果的です。

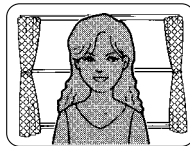
- SUPER-D には、ONモード、OFFモードがあります。

[SUPER-D機能を働かせない場合]

夜間

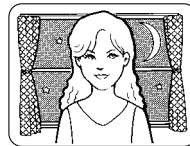


日中

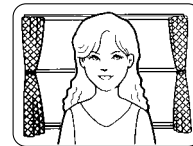


[SUPER-D機能を働かせた場合]

夜間



日中



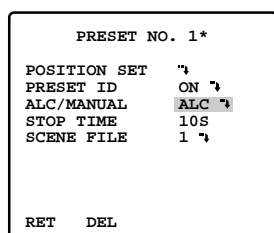
- ONモード  
常にSUPER-D機能を働かせます。
- OFFモード  
SUPER-D機能を停止します。工場出荷時は、この設定になっています。

### メモ

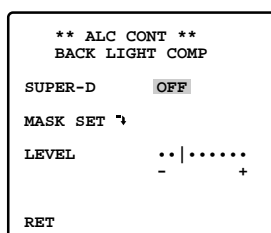
- SUPER-DをONにすると、次に示す項目の設定内容が制限されます。  
SHUTTER : OFF、1/100のみ切り替え可能  
SENS UP : AUTOのみ切り替え可能
- SUPER-DをONモードで使用するときは、レベルを少し上げ気味に設定するとより効果が得られます。ただし、レベルを上げすぎると、ちらつきやノイズなどが増える場合があります。(☞17ページ、手順5参照)
- 照明の条件によって下記のような現象が見られるときは、OFFモードでご使用ください。
  - ①画面のちらつきや色の変化が生じる場合
  - ②画面上の明るい部分にノイズが生じる場合



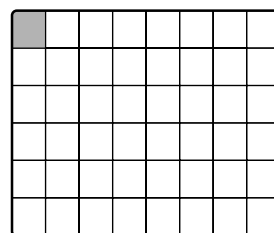
## (2) SUPER-Dの設定



プリセット設定メニュー



SUPER-D設定メニュー



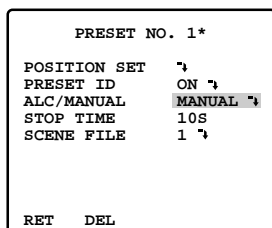
マスク設定画面

- 1 “ALC/MANUAL” の設定項目を “ALC” に切り替え、CAM(SET)キーを押す  
SUPER-D設定メニューを表示します。
- 2 カーソルを “SUPER-D” の設定項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし “ON/OFF” を切り替える  
ON : 常にSUPER-D機能を働かせます(⇨手順5へすすむ)  
OFF : SUPER-D機能を停止します(⇨手順3へすすむ)
- 3 カーソルを “MASK SET” に合わせてCAM(SET)キーを押す  
マスク設定画面を表示します。マスク設定画面では、画面を48区画に分割しており、左上の区画を点滅表示します。
- 4 背景の明るい部分の区画にマスクをかける
  - ① ジョイスティックつまみを左または右に動かし、画面上の点滅表示をマスクをかけたい区画に合わせます。
  - ② CAM(SET)キーを押し、マスクをかけます。マスクがかかっている区画に点滅表示があるときは、横縞と白の交互表示になります。  
他の区画に点滅表示があるときは、白くなります。
  - ③ 手順②の操作を繰り返しマスクの設定が完了したら、MON(ESC)キーを押してください。SUPER-D設定メニューに戻ります。  
マスクの設定を取り消したいときは、その区画に点滅表示を合わせ、CAM(SET)キーを押します。
- 5 映像出力レベル(画像のコントラスト)を変更する  
カーソルを “LEVEL” の設定項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かして調整します。  
手順2で “ON” に設定した場合、レベルを上げすぎると、ちらつき、ノイズなどが多くなる場合があります。

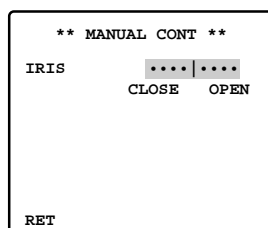
# プリセットの設定のしかた

## 光量をマニュアル設定する

この機能はプリセット設定メニューの“ALC/MANUAL”を“MANUAL”に設定したときにだけ使用できます。



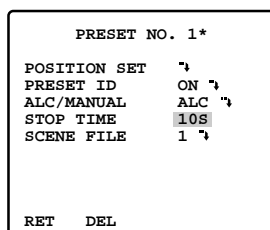
プリセット設定メニュー



マニュアル設定メニュー

- 1 “ALC/MANUAL” の設定項目を“MANUAL” に切り替え、CAM(SET)キーを押す  
マニュアル設定メニューが表示されます。マニュアル設定で使用する場合、  
SUPER-D機能は使用できません(自動的に“SUPER-D OFF” に設定されます)。
- 2 ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レンズの絞りを設定する

## 停止時間を設定する

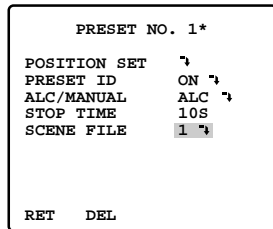


プリセット設定メニュー

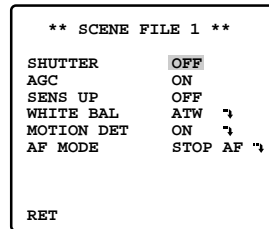
- 1 プリセットシーケンス動作時の各ポジションでの停止時間を設定する  
カーソルを“STOP TIME” の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右  
に動かし、停止時間を設定します。時間は次のように切り替わります。

→2S →3S →5S →10S →30S →1MIN →2MIN →3MIN →4MIN (sは秒、MINは分を  
表します)

## シーンファイルの詳細を設定する



プリセット設定メニュー



シーンファイル  
設定メニュー

### 1 シーンファイル番号を選択する

カーソルを“ SCENE FILE ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定したいシーンファイル番号(1~10)を選択します。

その後CAM(SET)キーを押し、シーンファイル設定メニューを表示します。

### 2 シャッタースピードを設定する

カーソルを“ SHUTTER ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かしシャッタースピードを選択します。シャッタースピードは次のように切り替わります。

- 電子シャッターのスピード(SUPER-DがOFFモードのとき)

→OFF(1/60)→1/100→1/250→1/500→1/1000  
1/10000←1/4000←1/2000← (単位：秒)

- 電子シャッターのスピード(SUPER-DがONモードのときまたは、SENS UPがAUTOのとき)

→OFF(1/60)→1/100 (単位：秒)

### 3 ゲインの調整方法を設定する

カーソルを“ AGC ”の項目に合わせジョイスティックを左または右に動かし、ON/OFFを切り替えます。

ON :ゲインコントロールを自動で行い撮影します。

OFF :ゲインを常に固定した状態で撮影します。

# プリセットの設定のしかた

## 4 電子感度アップを設定する

光量制御方式を“ALC”、シャッタースピードを“OFF”に設定している場合、カメラの感度を選択できます。

カーソルを“SENS UP”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かして切り替えます。次のように切り替えることができます。

- 電子感度アップ (SUPER-DがOFFモードのとき)

→OFF → X2 AUTO → X4 AUTO → X6 AUTO → X10 AUTO → X16 AUTO → X32 AUTO  
X32 FIX ← X16 FIX ← X10 FIX ← X6 FIX ← X4 FIX ← X2 FIX ← OFF ←

- 電子感度アップ (SUPER-DがONモードのとき)

→OFF → X2 AUTO → X4 AUTO → X6 AUTO → X10 AUTO → X16 AUTO → X32 AUTO

### AUTOとFIX

AUTOとFIXには次のような違いがあります。

**AUTO** : たとえばX32 AUTOであれば、32倍までの間で自動的に感度を上げます。

**FIX** : たとえばX32 FIXであれば、32倍に感度を上げます。

## 5 ホワイトバランスを調整する

カーソルを“WHITE BAL”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし“ATW/AWC”を切り替えます。

**ATW** : 自動色温度追尾モード(☞ ①へすすむ)

**AWC** : 自動ホワイトバランスコントロールモード(☞ ②へすすむ)

- ① “ATW”を選んだ場合は、カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調整します(操作の必要はありません)。
- ② “AWC”を選んだ場合は、表示が「AWC PUSH SW」に変わります。CAM(SET)キーを押し、ホワイトバランスを調整します。  
調整中は“PUSH SW”が点滅表示になります。
- ③ “PUSH SW”の点滅が停止したらホワイトバランスの調整は終了です。  
ジョイスティックつまみを左または右に動かし、表示を“AWC”にします。
- ④ ホワイトバランスの微調整をする場合は、24ページをご覧ください。

## 6 モーションディテクターを設定する

カーソルを“MOTION DET”の項目に合わせジョイスティックを左または右に動かし、ONとOFFを切り替えます。

ON : モーションディテクター機能を使用します。“ON”に切り替えた後、CAM(SET)キーを押すとモーションディテクター設定メニューを表示できます。このメニューでモーションディテクターの詳細を設定できます。(☞ 25ページ)

OFF : 使用しません。

### モーションディテクター機能とは

- ONにすることによって、48ブロック毎に画面の輝度部分の変化をとらえ、動きのあるものの検出をすることができます。
- 新監視通信機器と接続し通信が行われているときは、アラーム信号を他の機器に出力できます。また、1ブロックの輝度変化量に対して検出レベルを変えることができます。
- オートモードで動作中に画面の動きを検出すると、アラーム信号を他の機器に出力するとともに、アラームが発生したプリセットポジションに設定した時間停止させることができます。

## 7 オートフォーカスの動作モードを設定する

カーソルを“AF MODE”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、オートフォーカスの動作モードを設定します。

NORMAL : コントローラーのオートフォーカススイッチを押したときにだけ、オートフォーカスが働きます。

STOP AF : 手動によるPAN, TILT, ZOOM操作後、自動的にオートフォーカスが働きます。“NORMAL”と同様にコントローラーのオートフォーカススイッチでオートフォーカスを働かせることもできます。

“AF MODE”の項目にカーソルを合わせCAM(SET)キーを押すとオートフォーカスエリア設定メニューを表示できます。このメニューでフォーカスエリアを選択できます。(☞ 27ページ)

### メモ

電子感度アップ (SENS UP) を使用する場合、“STOP AF”は選択できません。自動的に“NORMAL”に設定されます。

# プリセットの設定のしかた

## オートモードの設定

```
*** SET UP MENU ***  
PRESET 1*  
MAP ↵  
HOME POSITION 15  
SELF RETURN 10MIN  
AUTO MODE AUTO PAN*  
SWALLOW TURN OFF  
LOCAL/REMOTE LOCAL  
CAMERA ↵
```

セットアップメニュー

```
** AUTO PAN **  
POSITION SET START  
END  
SPEED **|*****  
L H  
ENDLESS OFF  
STOP TIME 1S  
RET
```

AUTO PAN 設定メニュー

カメラの動作モードを以下に示す4種類の中から選び設定します。

### 1 モードを設定する

カーソルをセットアップメニューの“AUTO MODE”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、設定します。モードは次のように切り替わります。

→OFF→SEQ→SORT→AUTO PAN←

- OFF : 自動動作はしません。手動操作でのみ動作します。
- SEQ : 設定されているプリセットポジション番号の小さい順にシーケンス動作します。
- SORT : 設定されているプリセットポジションをカメラの原点位置から左回りにシーケンス動作します。
- AUTO PAN : 設定したPANの範囲を自動的に旋回します。

### 2 “AUTO PAN”を選択した場合は、以降の手順で詳細内容を設定する

カーソルを“AUTO PAN”に合わせ、CAM(SET)キーを押し、AUTO PAN設定メニューを表示します。

### 3 PANのスタート位置とエンド位置を設定する

- ① カーソルを“POSITION SET”に合わせ、CAM(SET)キーを押し  
“START”の位置にカーソルが移動します。
- ② ジョイスティックつまみを左または右に動かし、PANのスタート位置を決め  
CAM(SET)キーを押し  
これでスタート位置が決定し、“END”の位置にカーソルが移動します。
- ③ ジョイスティックつまみを左または右に動かし、PANのエンド位置を決め  
CAM(SET)キーを押し  
これでエンド位置が決定し、“POSITION SET”の位置にカーソルが移動します。

#### 4 PANスピードを設定する

カーソルを“ SPEED ”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、PANの巡回スピードを設定します。

左に動かすとスピードが遅くなり、右に動かすとスピードが速くなります。

#### 5 エンドレス巡回の“ ON/OFF ”を設定する

カーソルを“ ENDLESS ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、ONとOFFを切り替えます。動作は以下のとおりです。

**ON** : スタートの位置からエンド位置に向かってPAN巡回し、つぎにエンド位置から同じ方向に巡回しスタート位置に戻ります。以後この動作を繰り返します。

**OFF** : スタートの位置からエンド位置に向かってPAN巡回し、つぎにエンド位置から逆方向に巡回しスタート位置に戻ります。以後この反復動作を繰り返します。

#### 6 巡回時のカメラが停止する時間を設定する

カーソルを“ STOP TIME ”に合わせ、ジョイスティックつまみで時間を設定します。

→ 0S → 1S → 2S → 3S → 5S → 10S → 20S → 30S ← (sは秒を表します)

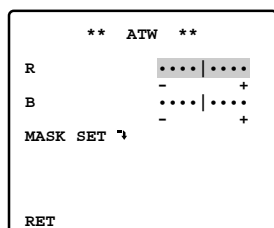
#### メモ

- オートモードで使用しているときに、回転台のPAN / TILTやレンズのZOOM / FOCUSを手動で操作すると、オートモードは解除され手動操作に切り替わります(セットアップメニューの“ AUTO MODE ”が“ OFF ”になります)。再度オートモードを開始するには、セットアップメニューの“ AUTO MODE ”を再度設定する必要があります。(☞ 前ページ手順1)
- AUTO PAN設定メニューで“ ENDLESS ”に“ ON ”、“ STOP TIME ”に“ 0S ”を設定した場合、スタート位置とエンド位置で一瞬停止しますが故障ではありません。

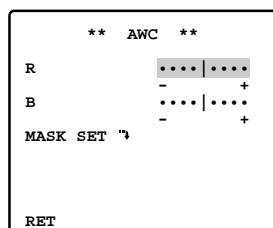
# プリセットの設定のしかた

## ホワイトバランスの微調整

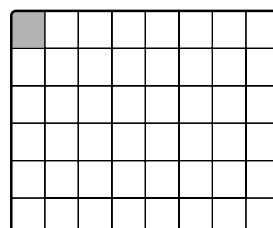
自動色温度追尾モード(ATW)、自動ホワイトバランスコントロールモード(AWC)でホワイトバランスを自動調整した後に、微調整を行います。



ホワイトバランス  
微調整画面(ATW)



ホワイトバランス  
微調整画面(AWC)



マスク設定画面

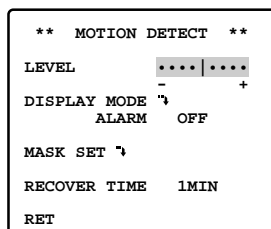
- 1 カーソルを“R”の設定項目、“B”の設定項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし微調整する  
“R”は赤色、“B”は青色を表しており、+方向に動かすと色が強く、-方向に動かすと色が弱くなります。
- 2 マスクを設定する  
カーソルを“MASK SET”に合わせてCAM(SET)キーを押し、マスク設定画面を表示

### メモ

ホワイトバランスは、画面上の色温度を自動的に検出し調整していますが、画面上に明るすぎる光源などがあると、正常に調整することができない場合があります。  
このようなときは、SUPER-Dの設定(⇒17ページ参照)と同様に、明るすぎる光源などにマスクをかけ、検出しないように設定します。



## モーションディテクターの詳細を設定する



モーションディテクター  
設定メニュー

### 1 検出エリアを設定する

カーソルを“**MASK SET**”に合わせ、CAM(SET)キーを押し、マスク設定画面を表示します。マスク範囲の設定方法は、SUPER-Dの設定(⇒17ページ参照)を参照してください。マスク範囲設定後、MON(ESC)キーを押し、モーションディテクター設定メニューに戻ります。

### メモ

- 風に揺れる木の葉やカーテンなどを検出する場合は、“**MASK SET**”により検出エリアから除外してください。
- 低照度下のノイズが多い条件では誤動作する場合がありますので、感度(LEVEL)を下げてください。
- 車のヘッドライトや照明のON/OFFなどにより、被写体照度が急激に変化する場合は、誤検出する場合があります。
- カメラの動き検出からVTRなどのアラーム端子までに約0.2秒の遅れがあります。
- この機能は盗難、火災などの専用防止装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切負いかねます。
- 設定メニューを表示している場合、アラームは出力されません(ただし、デモモードで“**ALARM**”を“**ON**”にしているときは除く)。
- モーションディテクターを“**ON**”にすると、プランキング期間にアラームデータを出力するため、VTRのタイムコードなどを使用する機器は誤動作します。同軸通信を使用しないときはモーションディテクターを“**OFF**”にしてください。

# プリセットの設定のしかた

- 2 カーソルを“ALARM”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、“ON/OFF”を切り替えます。

ON : デモモード時にアラームを出力します。

OFF : デモモード時にアラームを出力しません。

- 3 カーソルを“DISPLAY MODE”に合わせ、CAM(SET)キーを押す

## デモモードとは

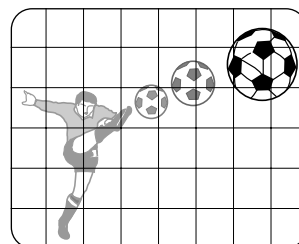
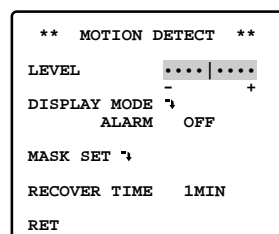
48分割のエリア表示の状態、設定した基準レベルより超えた輝度平均の変動が起こった部分をマスク表示することができます。

### ● レベル設定

“DISPLAY MODE”により、各ブロックエリアの検出有無を確認しながら、感度(LEVEL)の調整ができます。

### ● エリア設定

“MASK SET”により、検出エリアを任意に設定できます。



- 4 検出感度のレベルを設定する

カーソルを“LEVEL”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを設定します。

繰り返し行いながら、最適のレベルにします。

## 検出条件

**被写体の大きさ** : 動く物体は画面の1/48ブロック以上の大きさが必要。

**被写体のコントラスト** : 背景画像と動く物体のコントラスト比が5%(最大感度設定時)以上必要。

**被写体の動く速さ** : 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.1秒~0.8秒必要。

(コントラスト比が5%の場合)

それよりも速い物体または遅く動く物体は検出できません。

注 : コントラスト比が十分な場合は、大きさ・動く速さの制限は緩和されます。

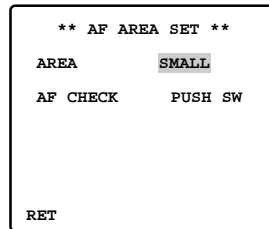
- 5 アラーム復帰時間を設定する

カーソルを“RECOVER TIME”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、復帰時間を設定します。時間は以下のように切り替わります。

→ OFF → 1MIN → 2MIN → 3MIN → 5MIN → 10MIN  
60MIN ← 30MIN ← 20MIN ← (MINは分を表します。)

“OFF”に設定した場合は、別の操作をするまで復帰しません。

## オートフォーカスの動作を設定する



オートフォーカス  
エリア設定メニュー

### 1 エリアを設定する

カーソルを“AREA”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、エリアを設定します。エリアは“LARGE”、“MID”、“SMALL”の中から選びます。

### 2 動作確認をするときは

カーソルを“AF CHECK”に合わせCAM(SET)キーを押します。これでオートフォー

### メモ

- ワイドで合わせた後、ズームアップするとピントがぼけます。
- 以下のような被写体は、オートフォーカスでピントを合わせることはできません。

手動操作でピントを合わせてください。

(例) ・輝いたり、強い光が反射する被写体。

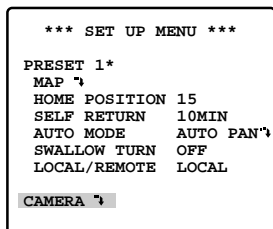
- ・水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体。
- ・画面内に遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合。
- ・白い壁など明暗差のない被写体。
- ・ブラインドなど、横じまの被写体。
- ・斜めの被写体。
- ・暗い被写体。

また、オートフォーカスは画面の中央部にある被写体に対してピントを合わせます。したがって、画面の周辺にある被写体にピントは合いません。

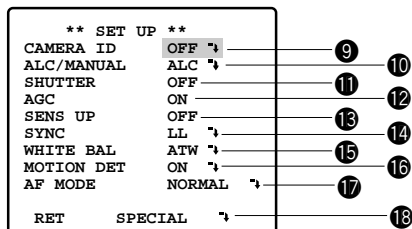
# カメラの設定

## カメラ設定メニューを表示する

- 1 カーソルを“CAMERA”に合わせる
- 2 CAM(SET)キーを押す  
カメラ設定メニューが表示されます。



セットアップメニュー



カメラ設定メニュー

## カメラ設定メニューについて

- ⑨ **CAMERA ID** : アルファベット、カタカナ、数字で最大16文字のカメラID（識別記号）を登録し画面に表示できます。プリセットIDの設定と同様の操作で登録できます。☞ 15ページ
- ⑩ **ALC/MANUAL** : 光量制御方式を切り替えます。プリセットの設定と同様の操作で設定できます。☞ 13ページ 手順3
- ⑪ **SHUTTER** : 電子シャッターのスピードを切り替えます。シーンファイルの設定と同様の操作で設定できます。☞ 19ページ 手順2
- ⑫ **AGC** : ゲインの調整方法を設定します。シーンファイルの設定と同様の操作で設定できます。☞ 19ページ 手順3
- ⑬ **SENS UP** : 電子感度アップを設定します。シーンファイルの設定と同様の操作で設定できます。☞ 20ページ 手順4
- ⑭ **SYNC** : 同期方法を設定します。  
☞ 29ページ
- ⑮ **WHITE BAL** : ホワイトバランスを調整します。シーンファイルの設定と同様の操作で設定できます。☞ 20ページ 手順5
- ⑯ **MOTION DET** : モーションディテクター機能を設定します。シーンファイルの設定と同様の操作で設定できます。☞ 21ページ 手順6
- ⑰ **AF MODE** : オートフォーカスの動作モードを設定します。シーンファイルの設定と同様の操作で設定できます。☞ 21ページ 手順7
- ⑱ **SPECIAL** : カメラの映像信号を微調整します。  
☞ 30ページ

## 同期方法の設定

内部同期(INT)と電源同期(LL)の切り替えができます。また、多重化ユニット(別売品)などを用いると、映像信号に多重化された垂直ドライブ信号(VD2)も受けることができます。

VD2信号が供給されているときは、同期モードは自動的に切り替わります。電源同期(LL)を選択した場合は、位相設定ができます。

多重化ユニットなどを用いカメラに多重化垂直ドライブ信号(VD2)を供給する場合、この設定を行う必要はありません。自動的にVD2に設定されます。

### 同期モードの優先順位

同期信号の優先順位は以下の通りです。

1. 多重化垂直ドライブ信号 (VD2)
2. 電源同期信号 (LL)
3. 内部同期信号 (INT)

```
** SET UP **
CAMERA ID  OFF ↵
ALC/MANUAL ALC  ↵
SHUTTER    OFF
AGC        ON
SENS UP    OFF
SYNC       LL  ↵
WHITE BAL  ATW  ↵
MOTION DET ON  ↵
AF MODE    NORMAL ↵
RET        SPECIAL ↵
```

カメラ設定メニュー

```
* SYNC *
V PHASE
COARSE    1(1--16)
FINE      :|.....+
          -|.....+
```

同期設定メニュー

- 1 カursorを“ SYNC ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、同期モードを切り替える

INT : 内部同期

LL : 電源同期(50Hz地域では使用できません)

- 2 電源同期(LL)を選択した場合は、詳細項目を設定する

- ① カursorを“ LL ”に合わせ、CAM(SET)キーを押す  
垂直位相調整メニューが表示されます。

- ② 映像出力信号をオシロスコープに接続する

調整するカメラの映像出力信号と基準となるカメラの映像出力信号(たとえば第一カメラ)を二重トレースオシロスコープに接続してください。  
オシロスコープは垂直レートにセットし、オシロスコープの垂直同期部を拡大してください。

- ③ 垂直位相の粗調整を行う

カursorを“ COARSE ”に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、両方の映像出力信号の垂直位相を粗調整します。  
粗調整は16段階の調整ができます。

### メモ

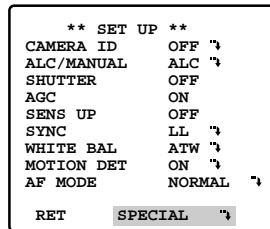
16段階進むと最初の段階に戻ります。

- ④ 垂直位相の微調整を行う

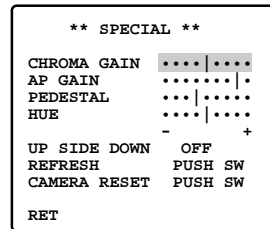
カursorを“ FINE ”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、両方の映像出力信号の垂直位相を微調整します。

# カメラの設定

## カメラ映像信号の微調整



カメラ設定メニュー



特別メニュー

### 1 カーソルを“ SPECIAL ” に合わせ、F2キーを押す

WV-RM70の場合は、左右スイッチを同時に約2秒間押し続けます。  
特別メニュー画面が表示されます。

### 2 クロマレベル(色度)を設定する

カーソルを“ CHROMA GAIN ” の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを調整します。

ベクトル色度指示器かカラービデオモニターを見ながら調整してください。

F2キーを押すと工場出荷時の設定に戻ります。

WV-RM70の場合は、左右スイッチを同時に押し続けます。

### 3 アパーチャレベルを設定する

カーソルを“ AP GAIN ” の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを調整します。左に動かすとソフトな画面に、右に動かすとシャープな画面になります。

カラービデオモニターを見ながら調整してください。

F2キーを押すと工場出荷時の設定に戻ります。

WV-RM70の場合は、左右スイッチを同時に押し続けます。

### 4 ペDESTALレベルを設定する

カーソルを“ PEDESTAL ” の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを調整します。左に動かすと暗い画面に、右に動かすと明るい画面になります。

F2キーを押すと工場出荷時の設定に戻ります。

WV-RM70の場合は、左右スイッチを同時に押し続けます。

---

#### 5 クロマ位相(色調)を設定する

カーソルを“HUE”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、レベルを調整します。

ベクトル色度指示器かカラービデオモニタを見ながら調整してください。

F2キーを押すと工場出荷時の設定に戻ります。

WV-RM70の場合は、左右スイッチを同時に押し続けます。

#### 6 上下反転を設定する

カーソルを“UP SIDE DOWN”の項目に合わせ、ジョイスティックつまみを左または右に動かし、ONとOFFを切り替えます。

ON : 上下が反転した画面になります。

OFF : 上下反転は働きません。

#### 7 使用中にポジションの位置がずれてしまったときは

カーソルを“REFRESH”に合わせ、F2キーを押します。

WV-RM70の場合は、左右スイッチを2秒間押し続けます。

#### 8 カメラの設定内容を解除するときは

カーソルを“CAMERA RESET”に合わせ、F3キーを押します。工場出荷時の状態に戻ります。

WV-RM70の場合は、左右スイッチを押しながら設定スイッチを同時に押し続けます。



## 警告

工事は必ず販売店に依頼してください。  
火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

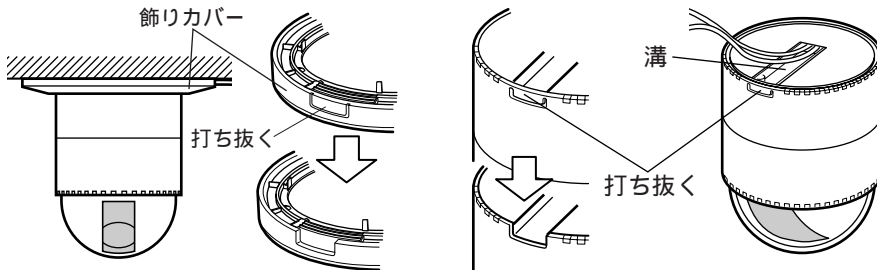
## 設置場所について

- 強度のある天井(コンクリート天井など)に取り付けてください。
- 強度の不十分な天井に取り付ける場合(二重天井など)は、カメラ天井直付金具 WV-Q105(別売品)を使用してください。
- 二重天井に埋め込んで取り付ける場合は、カメラ天井埋込金具 WV-Q106(別売品)を使用してください。
- 天井から吊り下げて取り付ける場合は、カメラ天井吊り下げ金具 WV-Q107(別売品)を使用してください。
- 壁に取り付ける場合は、カメラ壁取り付け金具 WV-Q108(別売品)を使用してください。

## 強度のある天井に取り付ける場合(コンクリート天井など)

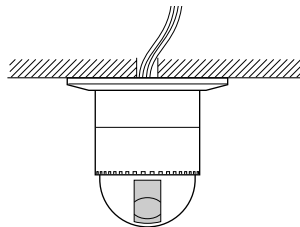
### 1 飾りカバーの加工をする

線材(同軸線と電源線)を側面から出す場合  
カメラ本体ダイカストケースと飾りカバーを加工します。



**注：線材は溝からはみ出さないように配線してください。溝からはみ出したまま取り付け作業を行うと、線材を傷つけ、断線や火災の原因となります。**

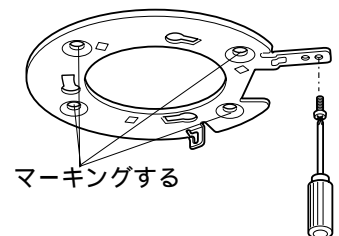
線材(同軸線と電源線)を天面から出す場合  
カメラ本体上部と飾りカバーは加工せずにそのまま使用します。



### 2 カメラ本体着脱金具(付属品)を型紙として、天井に取付ねじ用の穴位置を4ヶ所マーキングする

線材を天面から出す場合は、線材を通す穴位置を決め、穴を開けてください。

カメラ本体着脱金具(着脱金具)に取り付けられている取付固定ねじを取り外します。このねじは、カメラを着脱金具にロックするために使用しますので紛失しないよう注意してください。

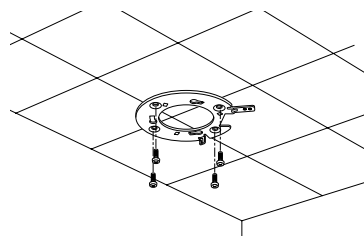


取付固定ねじを外す



### 3 取付ねじ(M4)4本で着脱金具を取り付ける。

注：カメラと着脱金具の総質量に耐えられる場所に取り付けてください。強度が不十分ですと、落下により、けがの原因となります。

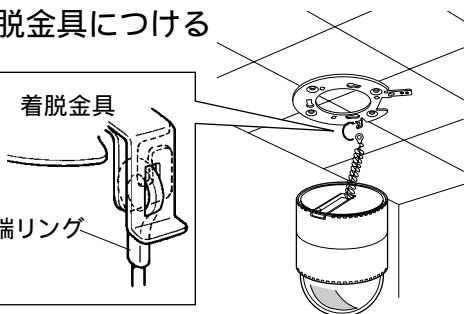


### 4 本体に固定されている安全ワイヤーを着脱金具につける

安全ワイヤーを引いてみて、安全ワイヤーの先端リングが確実に着脱金具のフックにかかっていることを確認してください。

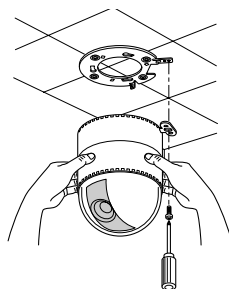
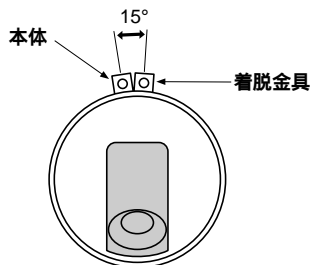
着脱金具

安全ワイヤーの先端リング

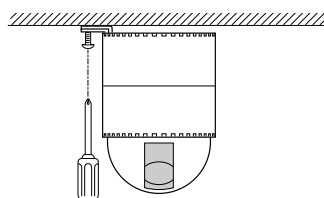


### 5 カメラ本体を着脱金具に取り付ける

- 着脱金具にカメラ本体を合わせて差し込み、右に回します。約15° 回すとロックされます。

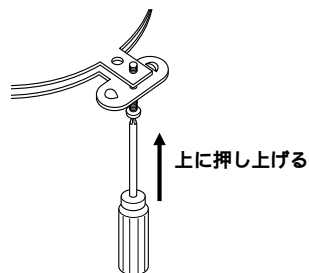


- 手順2で外した取付固定ねじで、カメラ本体と着脱金具を固定します。



#### 取り外す場合は

取付固定ねじをゆるめてから、ドライバーでねじを強く押し上げてください。その後ねじをはずすと本体が回るようになり取り外すことができます。



# 取り付けかた

## 6 取り付けの確認をする

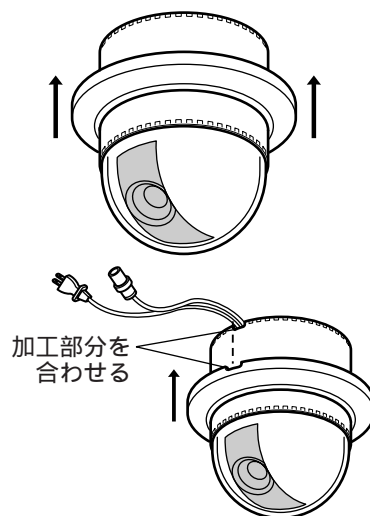
取り付け後、以下のことを必ず確認してください。

- 傾きがなく、きちんと取り付いていること。
- 下に引いてもぐらつかないこと。
- 本体固定部を回してみても、回らないこと。

## 7 飾りカバーを取り付ける

- 線材が側面がないときは、飾りカバーをそのまま上に持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。

- 線材が側面にあるときは、飾りカバーの加工部分が線材の位置に合うように持ち上げて、天井面に強く押しつけてください。



## 二重天井に取り付ける場合

カメラ天井直付金具 WV-Q105(別売品)またはカメラ天井埋込金具 WV-Q106(別売品)を使用して取り付けます。

取り付けかたは、使用する金具の取扱説明書をご覧ください。

## 天井から吊り下げる場合

カメラ天井吊り下げ金具 WV-Q107(別売品)を使用して取り付けます。

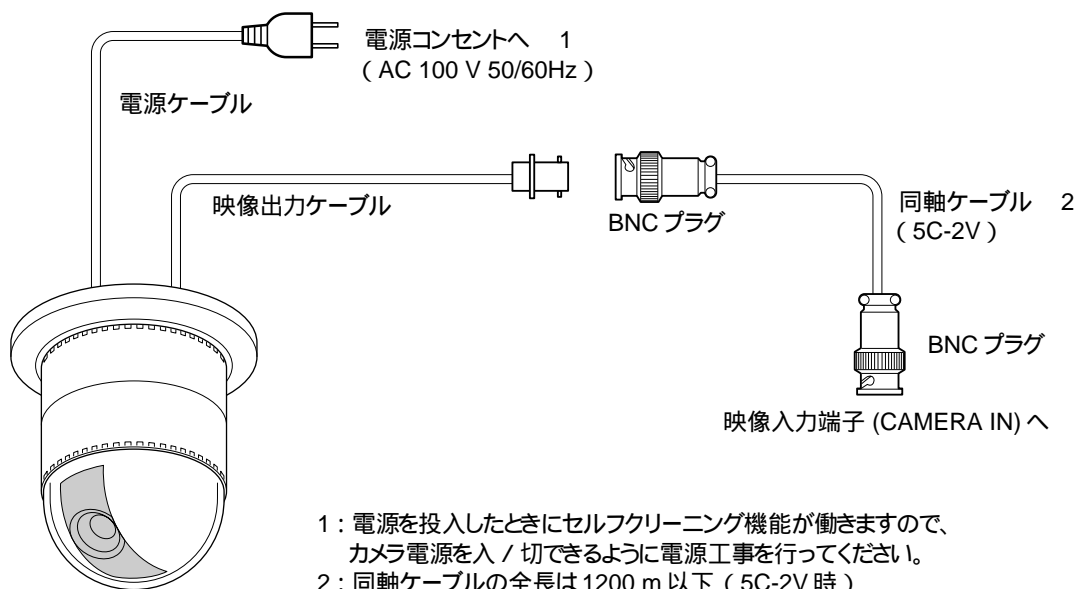
取り付けかたは、WV-Q107の取扱説明書をご覧ください。

## 壁に取り付ける場合

カメラ壁取り付け金具 WV-Q108(別売品)を使用して取り付けます。

取り付けかたは、WV-Q108の取扱説明書をご覧ください。

# 接続のしかた

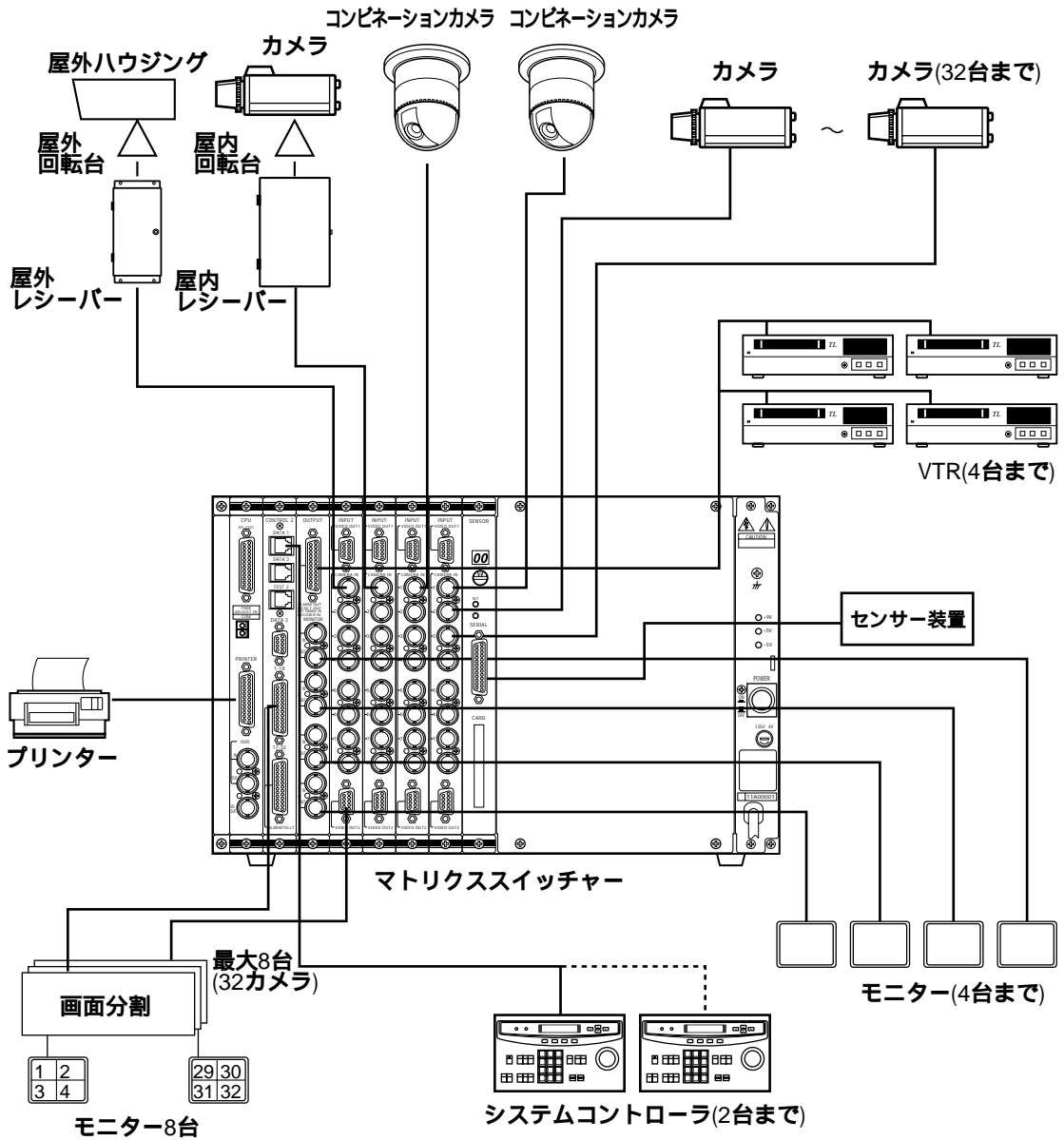


## メモ

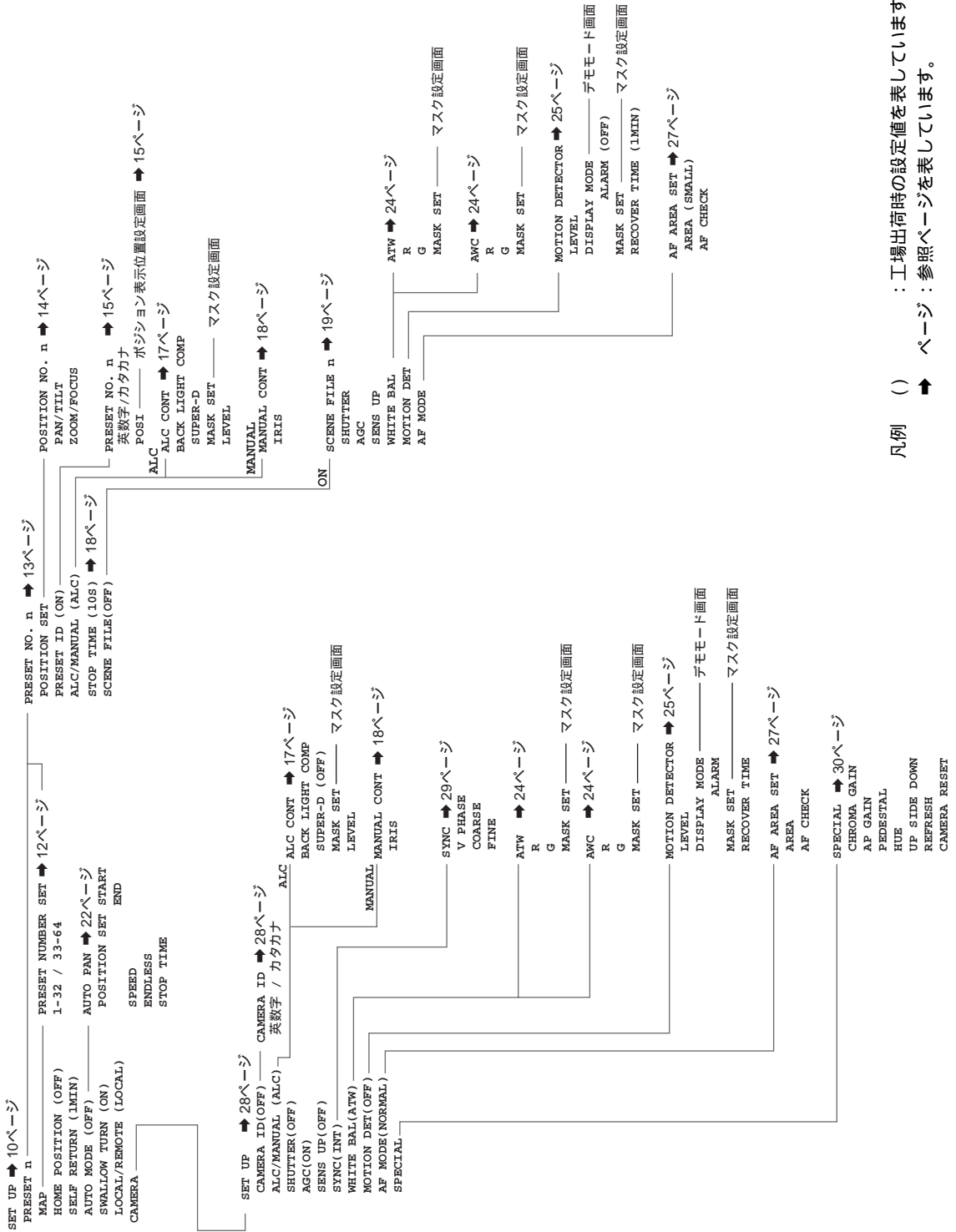
- カメラの電源を入 / 切できるように電源工事を行ってください。電源の入 / 切ができないと、セルフクリーニング機能 (7ページ参照) は使用できません。
- 電源を入れると、本機は自動的にPAN / TILT / ZOOM / FOCUSの動作行ってから停止します。故障ではありません。
- 電源投入後45秒以内に電源の入/切を繰り返すと、PAN / TILT / ZOOM / FOCUSの位置がずれることがあります。

# 接続のしかた

## 接続例



# 画面の遷移



凡例 ( ) → ページ ; 工場出荷時の設定値を表しています。  
 → ページ ; 参照ページを表しています。

# 仕 様

## ● 基本仕様

電 源	AC100 V 50 / 60 Hz 8 W (最大13 W)
使用温度範囲	-10°C ~ +50°C
寸 法	130 (直径) × 191 (高さ) mm
質 量	約2 kg
仕 上 げ	固定部 : アルミダイカストメラミン焼付塗装 マンセル7.9Y6.8/0.8近似色 ドーム部 : 透明アクリル樹脂

## ● 撮像素子・信号

撮 像 素 子	インターライン転送方式CCD
有効画素数	768 (H) × 494 (V)
走査面積	4.8 (H) × 3.6 (V) mm (1/3インチ相当)
信号方式	NTSC方式
同期方式	内部同期/多重VD同期/電源同期
走査方式	2 : 1インターレース
水平走査周波数	15.734 kHz
垂直走査周波数	59.94 Hz
映像出力	VBS : 1.0V [p-p] / 75 (BNC接栓)
解 像 度	水平 : 480TV本以上 (中心部にて) 垂直 : 350TV本以上 (中心部にて)
最低照度	3 lx
D レ ン ジ	40 dB
S / N	50 dB以上 (AGC OFF)

## ● レンズ部

ズ ー ム 比	10倍
焦点距離	5 ~ 50 mm
最大口径比	1 : 1.2 (WIDE) ~ 1.9 (TELE)
至近距離	1.2 m
絞り範囲	F1.2 ~ 64, close

## ● 回転台部

水平回転範囲	エンドレス旋回
水平回転範囲設定	オートパン時にメニューで設定
水平回転動作	マニュアル/オート/マニュアルポジション/シーケンスポジション
水平回転速度	マニュアル : 約3° ~ 約120° / s, 8段階 マニュアルポジション/シーケンスポジション : 最大約240° / s
垂直回転範囲	固定0 ~ 90° (水平~真下)
垂直回転動作	マニュアル/マニュアルポジション/シーケンスポジション
垂直回転速度	マニュアル : 約1.5° ~ 約60° / s, 8段階 マニュアルポジション/シーケンスポジション : 最大約120° / s

## ● 機能

A G C	ON / OFF
ズーム動作速度	マニュアル時 (TELE ~ WIDE) 約 5 s
フォーカス動作速度	マニュアル時 (FAR ~ NEAR) 約 5 s (ズーム TELE端にて)
オートフォーカス	NORMAL / STOP AF (PAN, TILT, ZOOM連動)
ア イ リ ス	オート (OPEN/CLOSEの補正可能) / マニュアル
電子シャッター	1/60 (OFF時), 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000, 1/2000, 1/4000, 1/10000
スワローターン	ON / OFF
S U P E R - D	ON / OFF
MOTION DET	ON / OFF
コントローラーとのI/F	新監視システム同軸多重
制 御 機 能	回転台、レンズ、64プリセットポジション回転動作、ホームポジション

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・  
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間  
ただし、冷却ファンおよびスリップリングは消耗品です。

修理を依頼されるとき

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、コンビネーションカメラの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ年月日	年 月 日	品番 WV-CS650
販 売 店 名	☎ ( ) -	

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVシステム事業部

〒224 - 8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎ (045)932-1231(大代表)

N0698-1088

V8QA4982BN